

# はんYA!かんYA!

サッカーの久保建英選手が、史上二番目に若い18歳と5日で日本代表“サムライブルー”にデビューを果たしましたが、みなさんそれぞれの日本代表の愛称知ってました？

有名なものから、「？」なもの、いつのまにか変わっていたものまで、あなたはいくつ分かるでしょうか。

火の鳥 NIPPON・



侍ジャパン・

アカツキファイブ・

彗星ジャパン・

サクラセブンス・



トビウオジャパン・



なでしこジャパン・

ポセイドンジャパン・

男子野球（例）



・女子サッカー

・女子バレーボール

・バスケットボール

・男子ハンドボール

・女子ラグビー（7人制）

・水球

・競泳



## トショブラ♥ ~つかわにゃ損だよ、Webサービス~

今年3月に図書館システムがバージョンアップして、Webサービスがますます便利になりました。主な新機能はコチラ→①検索結果に本の表紙画像が表示される！②図書館で借りた本の記録が残せる！③Web上に自分の本棚が作れる！④返却日をお知らせするメールが届く！などです。その他にも使える機能がイロイロあるので、ぜひ一度甲賀市図書館のHPをのぞいてみてください。図書館には、インターネットを閲覧できるパソコンもありますし、Wi-Fi環境も整備されていますよ。

発行：甲賀市図書館

水口図書館：63-7400 土山図書館：66-1056

甲賀図書情報館：88-7246 甲南図書交流館：86-1504

信楽図書館：82-0320

ホームページ：<http://lib.city.koka.lg.jp/>

Book guide for Young Adult

甲賀市図書館ヤングアダルト通信



vol.9

2019.Summer-Autumn

Koka City Library

ヤングアダルト（Young Adult）とは、13歳から19歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ！』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

おすすめ  
この1冊

名作×トンデモ感想文×ミステリー

『スガリさんの感想文は  
いつだって斜め上』

平田 駒／著 河出書房新社



夏休みの宿題の定番、読書感想文。苦手な人も多いのではないのでしょうか？

この本は、そんな読書感想文を部活動にしてまで書き、そして読んでもらいたい女子高生の“スガリさん”と男性家庭科教諭の主人公が、名作文学とその感想文を鍵に事件を解決する青春ミステリーです。

作中で読まれているのは夏目漱石の『こころ』と新美南吉の『手袋を買いに』。

このスガリさん、一筋縄ではいかないキャラクター。彼女の手にかかれば名作の感想文も視点は斜め上、ツッコミどころ満載の突拍子もないものになるのです。おかげで主人公は振り回されてばかり。しかし、この彼女の視点こそが事件解決の糸口になるのですが…。

読後、本の感想がとんでもなく自由になること請け合いの一冊です。

●自由と自分を求めて

『ナニュークたちの星座』

雪舟 えま／文 カシワイ／絵 アリス館



近未来、ある星に住むナニュークたち。彼らは、この星に必要な隠児石という石を採掘するために創られたクローン人間だ。任務を卒業した 37922 号は、宿舎から突然姿を消した 37923 号を探し出すため、都会へ出ることにした。そこで彼の目に留まったのは性別も年齢もわからない、人気歌手・ニウ。37922 号は次第にニウに親しみを覚えていく。そんなある夜、アパートの天井を見上げると、かつてここで暮らしたナニュークたちからのメッセージが浮かび上がりー。

読んだ後も爽やかな余韻が残る一冊です。

●まさか、みんなに慕われていた先生が殺人犯！？

『神様の裏の顔』

藤崎 翔／著 角川書店



人のためには身を粉にして働き、周りからの信頼も厚く教育者として自らの全てを捧げ、神様のようにと人々に慕われた元中学校長、坪井誠造が逝去した。深い悲しみに包まれた通夜では、子どもから大人まで参列者の誰もが涙する。しかし、教え子や元同僚、近所の主婦、坪井が大家をしていたアパートの店子のギャルやお笑い芸人、それぞれが故人を思ひ、思い出を振り返るうち、坪井誠造がとんでもない犯罪者だった疑惑が持ち上がり、話はどんどんおかしな方へ…。坪井誠造は、本当に善人だったのか、それとも恐ろしい犯罪者だったのか？

二転三転するストーリー展開に、イッキ読み必至です！

●信楽焼きの狸が人を呑み、村を襲う！？

『隣のずこずこ』

柿村 将彦／著 新潮社



高校受験を控えた中学三年生のゴールデンウィーク。ズコズコ歩くソイツは突然やってきた。権三郎狸。ソイツは5月が終わると村を滅ぼすという。祖父の語ってくれた昔話は本当だった？私は死ぬの？「ほんとにごめんなさい。でも、もう来ちゃったから、どうしようもないの」。突然やってきた終わりを前に私の平凡な日常はジワジワと変化していく。

この本を読み終えた時、あなたはあの馴染み深い狸の置物が少し怖くなるかもしれませんよ。

●生き苦しさから解放されるために

『「空気」を読んでも従わない』

鴻上 尚史／著 岩波書店



友だちと何を食へに行くか話していて、みんなが「ラーメンがいいね」といっている中、「ハンバーガーが食べたい」とはなかなか言いづらいものです。欧米では「じゃあ、私だけ、ハンバーガーを食べてくるから、ここでまた会おう」となることもあるようですが。私たちが言いづらい理由は、その場の「空気」のせいです。一度生まれると強力な力を持つ「空気」。気にしすぎると、不安で安定しない日々を過ごすことになります。「空気」に支配された生き苦しさを解明するために、この本を読んで考えると少し楽になります。

●ながい年月をかけて生きものはゆっくりとすがたをかえてきた

『ダーウィンの「種の起源」はじめての進化論』

サビーナ・ラデヴァ／作・絵 福岡 伸一／訳 岩波書店



この本は作者のサビーナ・ラデヴァさんが、ダーウィンの書いた「種の起源」をわかりやすい文章と絵で本にしたものです。動物たちは、自然界の生存競争の中で生きぬいて子孫をのこすため、食べものやすみかをもとめて争い、環境にもっとも適応したものだけが生きのこるそうです。この厳しい生命の営みを、美しく淡い色調のイラストで表現しています。生物学を学んだ作者の筆にも説得力があります。生きものが進化し、いきつづけているその不思議さを楽しんで読める科学絵本です。

●「日本人」ってだれのこと？

『国籍の？がわかる本』 木下 理仁／著 太郎次郎社エディタス



「あなたはナニ人ですか？」と聞かれたら、なんと答えますか。「〇〇人」と答えたとしたら、じゃあそれは「なぜ？」ですか。「国籍が〇〇だから〇〇人」と言う人がいるかもしれません。しかし国籍が、自分が〇〇人であることを証明するとは必ずしも言い切れないのです。この本は、「〇〇人」とは、「国籍」とは、をめぐる疑問について、いろいろな角度から答えてくれます。今一度、これらの「？」について考えてみませんか。